

NISSHIN

超速硬化ウレタンスプレーシステム

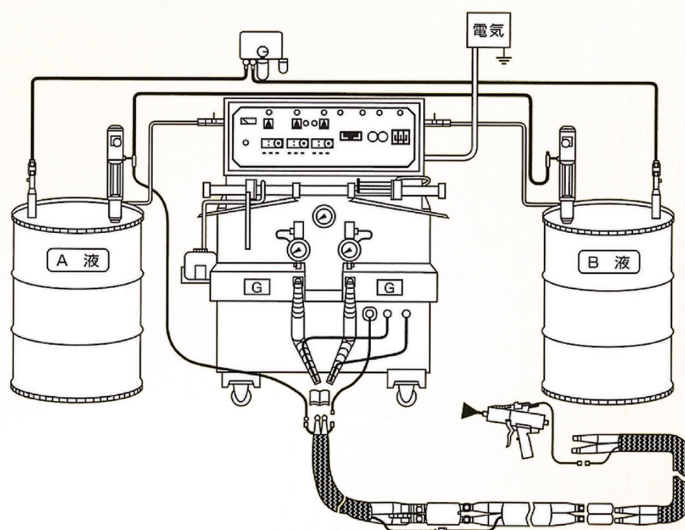
セピロンスプレー

ウレタン塗膜防水材

日新工業株式会社

セピロンスプレーとは？

セピロンスプレーは専用吹付機械を使用する高強度形のウレタン塗膜防水材です。複雑な形状にもシームレスな塗膜を形成することができます。



セピロンスプレーの施工箇所

	適用仕様	該当頁
◆ 屋 上	SPF-20・30, SPD-23・33, SPM・20, 30	3頁
◆ 開放廊下・外階段	SPK-15・20	4頁
◆ 競技場スタンド	SPS-20・30・20S・30S	4頁
◆ 金属下地	SPC-15・20	4頁
◆ 駐 車 場	SPP-30・40・50	5頁
◆ 緑化仕様	SPG-20・30	5頁



セピロンスプレーの特長

シームレスであらゆる 下地の形状に対応

複雑な形状にもシームレスな塗膜を形成し、従来の手塗り工法と比較して、ダレもありません。

工期短縮

瞬時に硬化(吹付け後数分で歩行が可能)するので工期の短縮が可能です。また従来の手塗り工法と比較して通行制限を大幅に短縮可能です。

屋上防水工法

複雑な形状(曲面や架台が多い)や「工期短縮」「意匠性」を求められる屋根に最適です。

一般の屋根にはSPF工法、剛性の低い屋根や保護コンクリート下地にはSPD工法、アスファルト防水下地等にはSPM工法が最適です。

■ 密着仕様 SPF

－ 重歩行 －

仕様記号	SPF-20	SPF-30	SPF-20V
工 程	平 場	平 場	立上り共通
1	USプライマーC10 0.2kg/m ²	USプライマーC10 0.2kg/m ²	USプライマーC10 0.2kg/m ²
2	セピロンSP-H 2.0kg/m ²	セピロンSP-H 3.0kg/m ²	セピロンSP-H 2.0kg/m ²
3	USToppコートQ 0.2kg/m ²	USToppコートQ 0.2kg/m ²	USToppコートQ 0.2kg/m ²

■ 絶縁仕様 SPD・SPM

－ 通気緩衝シートを使用する場合 －

仕様記号	SPD-23	SPD-33	SPF-20V
工 程	平 場	平 場	立上り
1	USボンド 0.3kg/m ²	USボンド 0.3kg/m ²	USプライマーC10 0.2kg/m ²
2	USシートA	USシートA	セピロンSP-H 2.0kg/m ²
3	カーダムコートBV 1.0kg/m ²	カーダムコートBV 1.0kg/m ²	USToppコートQ 0.2kg/m ²
4	セピロンSP-H 1.3kg/m ²	セピロンSP-H 2.3kg/m ²	
5	USToppコートQ 0.2kg/m ²	USToppコートQ 0.2kg/m ²	

－ 改質アスファルトシートを使用する場合 －

仕様記号	SPM-20	SPM-30	SPF-20V
工 程	平 場	平 場	立上り
1	USプライマーC1 0.2kg/m ²	USプライマーC1 0.2kg/m ²	USプライマーC10 0.2kg/m ²
2	エムイーシート (ジョイント処理) [※]	エムイーシート (ジョイント処理) [※]	セピロンSP-H 2.0kg/m ²
3	セピロンSP-H 2.0kg/m ²	セピロンSP-H 3.0kg/m ²	USToppコートQ 0.2kg/m ²
4	USToppコートQ 0.2kg/m ²	USToppコートQ 0.2kg/m ²	

[※]ジョイント部や端部にはそれぞれ「MXテープ」「テープJ」を貼り付けた後、「カーダムコートBV」を手塗りで「増し塗り」し、入隅には「クロスKN100mm幅」を貼り付けます。(詳細は施工要領書をご参照ください)

- ▶ 変更可能な製品や仕様
- SPD仕様の場合、「USボンド」に替えて「ボンドK」を使用することができます。
 - SPM仕様の場合、機械固定ウレタン複合工法とすることもできます。

改修工事で使用する場合

様々な下地で施工することが可能です、下記以外の下地については最寄りの営業所までご相談ください。
尚、立上りの既存防水層は撤去して、適切な下地処理を行ってください。(ウレタン塗膜防水除く)

下 地	アスファルト防水下地 ^{※1}	塩ビシート防水下地	FRP防水下地	ウレタン塗膜防水下地
工程 1	マルエスシーラー 0.8~1.2kg/m ²	USプライマーM2 0.1kg/m ²	研磨 + 溶剤拭き	USプライマーM4 0.15kg/m ²
工程 2	－	USプライマーM4 0.1kg/m ²	USプライマーM2 0.15kg/m ²	－

^{※1} SPM工法のための適用です。

仕上材の変更

各仕様の最終工程で塗布する「USToppコートQ」は変更可能です。詳細は弊社「セピロン防水」カタログをご参照ください。

複雑な形状(曲面や架台が多い)や「工期短縮」「意匠性」を求められる屋根に最適です。
用途や部位に応じて様々な仕様があります。

開放廊下・外階段

集合住宅など使用制限期間を短縮したい建物に最適です。

仕様記号	SPK-15	SPK-20
工 程	平場・立上り	平場・立上り
1	USプライマーC10 0.2kg/m ²	USプライマーC10 0.2kg/m ²
2	セピロンSP-H 1.5kg/m ²	セピロンSP-H 2.0kg/m ²
3	USTトップコートQ 0.2kg/m ²	USTトップコートQ 0.2kg/m ²

競技場スタンド

階段が多く面積が広い競技場スタンドは、平場と立上りが連続しており、一般的なウレタン塗膜防水の場合、塗継ぎ部分に美観上の問題が生じやすい上、工期が長くかかります。セピロンスプレーSPS仕様は、この問題を解決した画期的な仕様です。

－ 無機質塗装仕上げ －

仕様記号	SPS-20	SPS-30
工 程	平場・立上り共通	平場・立上り共通
1	USプライマーC10 0.2~0.4kg/m ²	USプライマーC10 0.2~0.4kg/m ²
2	セピロンSP-H 2.0kg/m ²	セピロンSP-H 3.0kg/m ²
3	USプライマーM4 0.15kg/m ²	USプライマーM4 0.15kg/m ²
4	HCTトップ20 0.5kg/m ²	HCTトップ20 0.5kg/m ²
5	HCTトップ20 0.5kg/m ²	HCTトップ20 0.5kg/m ²
6	HCTトップ20 0.4kg/m ²	HCTトップ20 0.4kg/m ²

－ 防滑仕上げ －

仕様記号	SPS-20S	SPS-30S
工 程	平場・立上り共通	平場・立上り共通
1	USプライマーC10 0.2~0.4kg/m ²	USプライマーC10 0.2~0.4kg/m ²
2	セピロンSP-H 2.0kg/m ²	セピロンSP-H 3.0kg/m ²
3	セラミック骨材5号 0.5kg/m ² セピロンSP-H 1.0kg/m ²	セラミック骨材5号 0.5kg/m ² セピロンSP-H 1.0kg/m ²
4	USTトップコートQ 0.2kg/m ²	USTトップコートQ 0.2kg/m ²
5	－	－
6	－	－

※PCa板の場合は、ピンホールが出やすいので下地調整を丁寧に行い、必要に応じてUSプライマーC10を2回塗布します。

金属下地

折板や瓦棒などの改修工事に最適です。仕上材に遮熱塗料を使用することで、室内の温度上昇を緩和します。

SPC仕様は金属に直接防水施工が可能で、建物を使用しながらの改修が可能です。

仕様記号	SPC-15	SPC-20
工 程	平場・立上り	平場・立上り
1	USプライマーM2 0.2kg/m ²	USプライマーM2 0.2kg/m ²
2	セピロンSP-H 1.5kg/m ²	セピロンSP-H 2.0kg/m ²
3	USTトップクール 0.2kg/m ²	USTトップクール 0.2kg/m ²

※USプライマーM2は、酢酸エチルと重量比1:0.5~1で混合して使用します。

※別途ジョイント及びフックボルトの処理が必要になります。

駐車場

仕様記号	SPP-30	SPP-40	SPP-50	SPF-20V
工 程	平場	平場	スロープ	平場・立上り共通
1	USプライマーC2 0.2~0.4kg/m ²	USプライマーC2 0.2~0.4kg/m ²	USプライマーC2 0.2~0.4kg/m ²	USプライマーC10 0.2~0.4kg/m ²
2	USプライマーC10 0.2~0.4kg/m ²	USプライマーC10 0.2~0.4kg/m ²	USプライマーC10 0.2~0.4kg/m ²	セピロンSP-H 2.0kg/m ²
3	セピロンSP-H 2.0kg/m ²	セピロンSP-H 3.0kg/m ²	セピロンSP-H 3.0kg/m ²	USToppコートQ 0.2kg/m ²
4	セラミック骨材5号 0.5kg/m ² セピロンSP-H 1.0kg/m ²	セラミック骨材5号 0.5kg/m ² セピロンSP-H 1.0kg/m ²	セラミック骨材3号 0.5kg/m ² セピロンSP-H 1.0kg/m ²	-
5	USToppコートQ 0.2kg/m ²	USToppコートQ 0.2kg/m ²	セラミック骨材3号 0.5kg/m ² セピロンSP-H 1.0kg/m ²	-
6	-	-	USToppコートQ 0.2kg/m ²	-

※USToppコートQにはトップファイラーを0.42kg/セット混合します。

緑化仕様

仕様記号	SPG-20	SPG-30
工 程	平場・立上り	平場・立上り
1	USプライマーC10 0.2kg/m ²	USプライマーC10 0.2kg/m ²
2	セピロンSP-H 2.0kg/m ²	セピロンSP-H 3.0kg/m ²
3	USプライマーM4 ^{※1} 0.15kg/m ²	USプライマーM4 ^{※1} 0.15kg/m ²
4	カーナート緑化工法 ^{※2}	カーナート緑化工法 ^{※2}

※1 緑化工法を施工しない部位は、工程3を省略し、USToppコートQ(0.2kg/m²)を塗布します。

※2 カーナート緑化工法の詳細は専用カタログをご参照ください。

改修工事で使用する場合

様々な下地で施工することが可能です、詳細は3頁をご参照ください。
尚、金属下地の改修の場合は、適切に防錆処理を行ってください。

仕上材の変更

各仕様の最終工程で塗布する「USToppコートQ」は変更可能です。詳細は弊社「セピロン防水」カタログをご参照ください。

駐車場防水床 施工のポイント

施工

認定施工店による施工が必要です。詳細は最寄りの営業所まで、お問い合わせください。

● 施工管理の徹底

不均一な塗膜厚、インターバルを空けることは不具合の発生につながります。施工管理を徹底してください。

● 膜厚の確保

区割りをし、所定の使用量を均一に吹付けます。

● 塗り重ねインターバルを空けない

プライマーからライン引きまでインターバルを空けないよう施工してください。やむなくインターバルを空ける場合は、層間プライマー等適切な処置をしてください。

● インターバルと処置方法

セピロンスプレーの施工は工期を空けないことが原則です。埃による表面の汚れも接着に大きく影響するので、インターバルに関係なく埃がついた場合は、必ずキシレントルエンで拭いてください。

工程	経日	処置
USプライマーC10 セピロンSP-H	降雨を伴う工程延期:中2日以上	目粗し、 USプライマーC2、M2
セピロンSP-H セピロンSP-H	降雨を伴う工程延期:中1日以上	目粗し、 USプライマーC2、M2
セピロンSP-H USToppコート類	降雨を伴う工程延期:中1日以上	キシレン洗浄 USプライマーC2

● 養生期間の確保

トップコートの塗布後、車の走行可能な強度まで夏場で2日、冬場で3日以上以上の養生期間が必要です

● 塗継要領

工区を分割して施工する場合は、塗継ぎ部分が発生し、インターバルが空くので研磨し、層間プライマーを使用してください。

下地について

● 下地の打設条件

金ゴテ押さえ仕上げが必要です。

● 下地の養生条件

夏季で3週間、冬季で4週間以上が必要です。

● 下地の目粗し

ライナックスK60、K-30あるいは、それと同等の機械で研磨します。脆弱部分も除去します。(ポリッシャーは使用不可)

● 下地の乾燥状態

日中気温が上昇しているときに1辺が1mのビニルシートを張付け、一昼夜後、シートの内面に水滴の付着がないことを確認します。

● 下地の平滑性

突起及び異物は除去してください。不陸は防水材あるいはフィットエボ#10で下地調整します。勾配調整はフィットエボ#10で下地調整します。水溜りは防水材でも可です。床面にノロ引きをしないでください。

● 下地勾配確認

1/100～5/100を確認します。

● 下地クラック処理

0.5mm未満のクラックはプライマー塗布後、カーダムコートBVを擦り込みます。0.5mm以上の場合は5～10mmの深さにUカットし、プライマー塗布後、カーダムコートBVを塗布します。

● コンクリート打継部の処理

コンクリートの打継部はUカットしプライマー塗布後、カーダムコートBVを充填します。

● 下地の清掃

汚れ、特に油污は接着に悪影響を及ぼしますので除去してください。

危険物の取扱いについて

(1) 危険物の保管および取扱いは、消防法およびその関連法規に従って行わなければならない。

(2) 危険物は消防法により分類され、それぞれに貯蔵できる数量(指定数量という)が決められている。

- ① 指定数量以上(指定数量の倍数が1以上)の場合は、消防法ならびにその関連法規
- ② 指定数量以下(指定数量の倍数が1未満)の場合は、市町村条例
- ③ 指定数量の1/5未満(指定数量の倍数が1/5未満)の場合は、無届け使用が可能

④ 指定数量の計算
$$\text{指定数量の倍数} = \frac{\text{Aの貯蔵量}}{\text{Aの指定数量}} + \frac{\text{Bの貯蔵量}}{\text{Bの指定数量}} + \frac{\text{Cの貯蔵量}}{\text{Cの指定数量}}$$

⑤ 指定可燃物として分類されるものは、指定数量以上になれば指定可燃物となり、市町村条例に従わなければならない。

施工にあたっての安全管理

● 保護具の着用

ヘルメット、保護眼鏡、マスクを必ず着用してください。履物は現場の指示に従ってください。

● 危険物の取扱い

施工現場は火気厳禁です。材料の保管、貯蔵等については、元請会社、消防署に確認してください。

● 作業環境の管理

作業場の危険に配慮し、周辺地区に対する安全、環境の配慮をしてください。

● 吹付け施工時の飛沫(ミスト)の飛散防止

セピロンスプレーの施工に際し、風による飛沫の飛散付着による付近の建築物、駐車している車等の汚染事故を起こさないように十分な養生を行ってください。

施工後の維持管理

施工完了したセピロンスプレーの健全維持のため、使用時の維持管理が極めて重要です。施工主及び建物管理者に、以下のような管理をお願い致します。

● 日常点検により、飛来物や排水溝および排水口の泥などの詰まりを除去してください。

● トップコートや塗膜にフクレ、剥離、ひび割れなどの異常が認められた場合は施工業者に連絡し、補修してください。

● トップコートは劣化の状況に応じて、3～5年毎に塗替えを行ってください。この再塗装は有償の工事になります。

● 粗面仕上げは、使用の状況により摩耗し、滑り抵抗が低下します。摩耗の程度により3～5年毎に塗替えを行ってください。ただし、使用の状況によっては3年を経過しなくても再塗装が必要になる場合があります。この再塗装は有償の工事になります。

付帯工事

● 車止め

車止めは、防水層施工後、接着剤で取り付けてください。

● ライン工事

アクリルウレタン系塗料のHCパークラインをご使用ください。

使用上の注意

● 走行速度制限の徹底

セピロンスプレー床面の車の走行速度制限を徹底させてください。(15km/h以下)

● 走行車両の重量制限

セピロンスプレーにおける走行車両の制限は、普通乗用車までといたします。

● 急発進、急ブレーキの禁止

急発進、急ブレーキは床面を損傷させますので厳禁としてください。

● 火気を使用しない

煙草の吸殻の投げ捨て、花火など火気の使用は厳禁としてください。

● 溶剤、ガソリン、不凍液などの薬品をこぼさない

床面塗膜が軟化し、フクレや剥がれが生じる原因となります。

● 先端の尖ったもので傷付けたり、落下させたりしない

● 重量物を引きずったり落としたりしない

● 洗浄には中性洗剤以外の洗剤を使用しない

● 表面が濡れている場合は歩行に注意する

● 寒冷地において、車両のスパイクタイヤ、金属チェーン、スパイク付ゴムチェーン等装着時の走行は床面の塗膜を損傷させるので厳禁としてください。

セピロンスプレー 施工上の注意

下地調整について

● 下地の乾燥

(1) 補修防水工事・改修防水工事

下地の乾燥は防水工事において最も重要な条件になります。下地の乾燥が不十分な状態で防水工事を行うことは、後々膨れの原因となります。水分の管理法としては、下地を一片が約1mのビニルシートで覆い、一昼夜後の結露の状況を確認する方法等があります。

(2) 新築工事

新築のコンクリートやモルタルは、夏季で3週間、冬季で4週間以上の養生が必要となります。コンクリートやモルタルの水分の管理法としては、下地を一片が約1mのビニルシートで覆い、一昼夜後の結露の状況を確認する方法等があります。

● 下地の平滑性

下地の平滑性も防水工事の重要な条件となります。下地の凸部分や突起異物はサンダー等で除去してください。また、不陸部や水溜りのできる箇所には、下地調整材の「フィットエゴ#10」等で平滑に仕上げてください。

● 下地勾配の確認

下地の勾配は仕様書に準じて調整してください。勾配の調整には「フィットエゴ#10」等で処理してください。

● 下地の浮き

下地に浮きのある場合は、後々の防水層の剥離現象の原因ともなります。下地の浮きの有無を確認して下さい。浮きが大きな場合はその部分を切り取った後「フィットエゴ#10」等で、平滑に仕上げてください。浮きが小さな場合にはエゴキシ系の注入材で処理することも出来ます。

● 下地クラック部の処理

1mm未満のクラックはプライマー塗布後、「カーダムコートBV」または「ウレタン系シーリング材」で埋めてください。1mm以上のクラックはUカットし、プライマーを塗布した後「ウレタン系シーリング材」を充填して、平滑に処理してください。

● 下地の清掃

下地表面の汚れ、特にマシン油等の汚れは防水層の下地への接着性を阻害して、後々の剥離現象の原因ともなります。下地の清掃とともに汚れを除去してください。また、同時にレイトランスを除去し、下地の脆弱部分も処理してください。

● 目地の処理

既設アスファルト系目地材がある場合にはできるだけ除去した後にバッカーを埋め込み、「ウレタン系シーリング材」を充填します。動きが予想される下地の伸縮目地部や塩ビシートのジョイント部等は補強布「クロスK」等を用いて防水材の補強塗りを行ってください。

● 出隅部、入隅部の処理

出隅部は10mm~20mm程度の丸面または5mm程度の面取りを行ってください。入隅部は直角仕上としてください。

● 貫通パイプ回りの処理

金属製パイプは錆や塗料を除去した後、樹脂製パイプはサンディング処理後、専用プライマーを塗布し、補強布「クロスK」等を用いて、防水材の補強塗りを行ってください。

防水施工を始めるにあたって

● 気候の条件

(1) 施工時の気温

「セピロンスプレー」は施工時の気温によって作業可能な時間が変わります。

— 使用の目安 —

「セピロンスプレー」は1年を通して使用できる「通年用」として用意しております。なお、5℃以上での施工を推奨しております。施工面に結氷や霜が付着していると防水層の下地への接着不良を起きますので、施工にあたっては気候の条件に十分な注意を行ってください。

(2) 施工の中止

降雨、降雪、強風が予想される場合は施工中止としてください。

防水施工の安全管理

● 保護具の着用

「セピロンスプレー」の取扱いにあたっては保護具(ヘルメット、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク)を着用してください。

● 危険物の取り扱い

使用材料の多くが消防法で定める危険物に該当します。施工にあたって、材料の運搬や保管貯蔵・取扱いについて十分に配慮してください。

● 吹付施工時の飛沫(ミスト)の飛散防止

セピロンスプレーの施工にあたっては、風による飛沫の飛散付着による付近の建築物、駐車している車等の汚染事故を起こさないよう十分な養生を行ってください。

● 作業環境の管理

防水施工にあたっては、常に作業上の危険や事故防止に配慮してください。また、施工の現場だけでなく、周辺地域に対しても十分な配慮が求められます。労働安全衛生法に従い施工してください。

施工後の維持管理

施工の完了した防水層の健全維持のためには、施工後の維持管理が極めて重要です。施主および建物管理者に以下のような管理をお願い致します。

ウレタン塗膜防水の維持管理のお願い

- 日常点検により、飛来物や排水溝および排水口の泥などの詰まりを除去してください。
- トップコートや塗膜にフクレ、剥離、ひび割れなどの異常が認められた場合は施工業者に連絡し、補修してください。
- トップコートは劣化の状況に応じて、3~5年毎に塗替えを行ってください。この再塗装は有償の工事になります。
- 粗面仕上層は、使用の状況により摩耗し、滑り抵抗が低下します。摩耗の程度により3~5年毎に塗替えを行ってください。ただし、使用の状況によっては3年を経過しなくても再塗装が必要になる場合があります。この再塗装は有償の工事になります。

ウレタン塗膜防水の使用上の注意

- 歩行する場合は必ずゴム底の履物、またはスリッパを使用してください。ハイヒールやスパイクシューズで歩行すると、防水層を損傷させます。
- 火気を使用しないでください。タバコの吸い殻の投げ捨てや、花火をすると、防水層に穴があく原因となります。
- 溶剤、ガンソリン、不凍液等の薬品をこぼさないでください。防水層が軟化し、膨れやはがれが生じる原因となります。
- 重量物を引きずったり、落としたりしないでください。
- イス、テーブル等を置く場合は、脚をゴム等で保護してください。
- ゴルフや一輪車の練習は行わないでください。
- 犬、兎、鶏等のペットを飼わないでください。糞尿は防水層を劣化させます。
- 洗浄には中性洗剤以外は使用しないでください。
- クーリングタワーに使用する防藻剤は種類によって防水層を損傷させますのでご注意ください。
- 表面が濡れている場合は、滑りやすいのでご注意ください。

製品一覧表

種類	品名	内容	規格	危険物種別
プライマー	USプライマーC1	1成分ウレタンプライマー	17kg/缶	第4類第二石油類
	USプライマーC10	USプライマーC1とポルトランドセメントを重量比1:0.5~1の割合で混合したもの		
	USプライマーC2	1成分ウレタンプライマー	16kg/缶	第4類第一石油類
	USプライマーM2	1成分特殊ウレタンプライマー	0.5kg/缶、17kg/缶	第4類第一石油類
	USプライマーM4	2成分エポキシウレタン系プライマー	主 剤:4kg 硬化剤:4kg	主 剤:第4類第一石油類 硬化剤:第4類第一石油類
	USプライマーM4E	3成分水性エポキシ系プライマー	A液:4kg B液:4kg 粉体:8kg	-
防水材	セピロンSP-H	超速硬化ウレタン防水樹脂 (JIS A 6021 高強度形)	A液:200kg B液:182kg A液18kg B液16kg	A液:第4類第四石油類 B液:第4類第三石油類
	セピロンSPトナー	セピロンSP-H用トナー	0.7kg、8kg/缶	-
	カーダムコートBII	2成分ウレタン塗膜防水材	主 剤:6kg 硬化剤:12kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:可燃性液体類
	カーダムコートBV	2成分ウレタン塗膜防水材(立上り用)	主 剤:6kg 硬化剤:12kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:可燃性固体類
仕上材	USToppコートQ	2成分アクリルウレタン系トップコート	主 剤:7kg 硬化剤:7kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第一石油類
	USToppクール	環境配慮型 2成分アクリルウレタン系高反射トップコート	主 剤:7kg 硬化剤:7kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第一石油類
	USToppクールEX	環境対応型 2成分アクリルウレタン系高反射トップコート	主 剤:6kg 硬化剤:9kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第二石油類
	USToppコートEX	環境対応型 2成分アクリルウレタン系トップコート	主 剤:6kg 硬化剤:9kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第二石油類
	USToppコートSi	環境対応型 2成分アクリルシリコン系高耐久トップコート	主 剤:6kg 硬化剤:9kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第二石油類
	USToppクールSi	環境対応型 2成分アクリルシリコン系高反射トップコート	主 剤:6kg 硬化剤:9kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第二石油類
	HCTopp20	1成分水性エチレン酢ビ系無機質トップコート	20kg/缶	-
通気緩衝用 シートテープ	USシートA	絶縁工法用シート(穴ありタイプ)	1.2m×50m/本	-
	USテープ	USシート用ジョイントテープ	50mm×50m	-
	エムイーシート	絶縁工法用改質アスファルトシート	1m×15m/本 t=1.0mm	-
	MXテープ	エムイーシート用ジョイントテープ	100mm×50m	-
	テープJ	エムイーシート用端末テープ	100mm×25m 4巻/箱	-
副資材	クロスK	ポリエステル繊維メッシュ	1.02m×50m/巻	-
	クロスKN	粘着層付ポリエステル繊維メッシュ	100、200mm×50m	-
	トップファイラー	粗面仕上用無機質ファイラー	0.42kg/袋	-
	セラミック骨材3号	スロープ用セラミック骨材	25kg/袋	-
	セラミック骨材5号	一般用セラミック骨材	25kg/袋	-
	硬化促進剤V	USプライマーC1、USボンド用硬化促進剤	200g/缶	第4類第二石油類
	硬化促進剤VI	カーダムコートBII用硬化促進剤	1kg/缶	第4類第二石油類
	USボンド	2成分無溶剤型ウレタン系接着剤	主 剤:2kg 硬化剤:8kg	主 剤:第4類第四石油類 硬化剤: -
	ボンドK	1成分クロロプレンゴム系接着剤	15kg/缶	第4類第一石油類
	HCパークライン	2成分アクリルウレタン	主 剤:1kg 硬化剤:4kg 主 剤:3kg 硬化剤:12kg	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第一石油類
	フィットエボ#10	セメント系下地調整材	A液:4kg B液:4kg 粉体:13kg×2	-
	マルエスシーラー	アスファルト系下地調整材	20kg/缶	第4類第二石油類

■ その他副資材は「セピロン防水」、緑化工法については「カナート」カタログをご参照ください。

※ 「HCTopp20」「HCパークライン」は保土谷建材株式会社の製品です。

- 当カタログのデータは全て性能値であり保証値ではありません。
- カタログに掲載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
- 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。
- 製品の保管及び取扱いについては、SDSをご参照の上、ご使用ください。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト <https://www.nisshinkogyo.co.jp/>



総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

☎ 0120-86-2424

■ 本社/営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4TEL.(03)3882-2571
 ■ 関 東 TEL.(03)3882-2641 ■ 九 州 TEL.(092)451-1095 ■ 広 島 TEL.(082)541-5033
 ■ 大 阪 TEL.(06)6533-3191 ■ 札 幌 TEL.(011)215-1034 ■ 横 浜 TEL.(045)316-7885
 ■ 名 古 屋 TEL.(052)933-4761 ■ 仙 台 TEL.(022)263-0315 ■ 工 場 埼 玉・山 形